

平成30年度 自己点検・自己評価

1) 教員による学校評価

評価基準 0:改善すべきである 1:改善の余地がある 2:満たしている 3:十分満たしている

項目	H29年度	H30年度
I. 教育理念・教育目的	2.63	2.49
II. 教育目標	2.86	2.25
III. 教育課程経営	2.42	2.29
IV. 教授・学習・評価過程	2.4	2.3
V. 経営・管理過程	2.41	2.26
VI. 入学	2.5	2.83
VII. 卒業・就業・進学	2.4	1.8
VIII. 地域社会/国際交流	1.63	1.66
IX. 研究	2	2.19
平均	2.36	2.23

2) 学生による学校評価

評価基準 4:大いにそう思う 3:そう思う 2:ややそう思う 1:全く思わない

項目	平成29年度平均		平成30年度平均	
	項目別	カテゴリー別	項目別	カテゴリー別
1	学校理念は明確に示されている	3.3	3.5	3.5
2	教育目的・目標は明確に示されている	3.3	3.6	
3	学年目標は明確に示されている	3.4	3.5	
4	基礎分野の教育内容に満足している	3.2	3.4	3.2
5	専門基礎分野の教育内容に満足している	3.3	3.4	
6	専門分野の教育内容に満足している(講義・演習)	3.2	3.3	
7	統合分野の教育内容に満足している(講義・演習)	3.2	3.3	
8	講義・演習の教育内容に満足している	3.0	3.2	
9	わかりやすい授業が多い	2.5	2.8	
10	考える(思考を促される)授業が多い	3.1	3.1	
11	シラバスと実際の授業に内容は概ね一致している	3.3	3.4	
12	専門分野の教育内容に満足している(実習)	3.1	3.3	3.2
13	統合分野の教育内容に満足している(実習)	3.0	3.2	
14	実習指導体制は整備されている	2.9	3.0	
15	実習施設の物的環境は整備されている	3.1	3.2	
16	実習評価は、内容・方法・基準が明確に示されている。	3.2	3.4	
17	カリキュラムの内容と教育理念・教育目的・教育目標は一致している	3.3	3.5	3.5
18	専門的な知識が身につく	3.4	3.5	
19	専門的な技術が身につく	3.4	3.5	
20	奨学金制度は必要時活用できる	3.3	3.5	3.3
21	個別相談・カウンセリングなど学生をサポートする体制が整っている	3.4	3.3	
22	課外活動(授業以外の学習等)は充実している	2.8	3.1	
23	健康管理体制に満足している	3.1	3.3	
24	学習するための教材及び図書は十分である	3.2	3.3	
25	図書室は利用しやすいシステムになっている	3.3	3.4	
26	情報科学室は利用しやすい環境である	3.2	3.3	
27	ゼミ室は利用しやすい環境である	3.2	3.1	
28	ボランティア活動に積極的に参加する体制が整っている	2.6	2.8	3.0
29	学校行事は地域のニーズを考慮して計画されている	3.0	2.9	
30	看護教育広報活動(オープンキャンパス・HP等)を行っている	3.1	3.3	
31	効果的な教育ができるような教員の組織体制が作られている	2.8	3.0	3.0
32	学校職員は、学生の関心ごとに耳を傾け、相談や話ができる	2.6	3.0	
33	学生の自治会活動が活発である	2.7	3.1	3.2
34	学校の教育運営に学生の意見がとりいれられている	2.6	3.1	
35	カリキュラムに対して評価する機会が与えられている	3.0	3.4	
36	全体的にみて、本校で学んだことに満足している	3.0	3.1	
平均		3.1	3.3	

《考察》

平成29年度の結果を受けて、平成30年度は『地域包括ケアシステムの中で活躍できる看護師を育成する』という教育方針を具現化し、様々な改革を行った。・アクティブ・ラーニングを活用した授業やシミュレーション教育、ルーブリックによる評価基準を明確化し、看護実践力の強化に取り組んだ。・Web配信による視聴覚教材の導入や専門書の計画的な購入など、図書の利用率の向上と充実した環境を調整した。・タスクトレーニングに取り組むためのシミュレーションルームを整備し、自発的な学習と安全保証の視点からマネジメントを見直した。・実習では効果的な学内日と指導時間を設定し、看護を意図的に振り返り、思考を深め、意味づけを行った。また、実習指導者と協働し、レディネスに応じた指導の改善に取り組んだ。

以上のことから、教育内容の精選、学習環境を整えたことにより学生による学校評価の【教育方針】【管理運営】が上昇したと考える。次年度は更に上記4つの取り組みを継続・強化していきたい。